

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3130328号

(U3130328)

(45) 発行日 平成19年3月22日(2007.3.22)

(24) 登録日 平成19年2月28日(2007.2.28)

(51) Int. Cl.

A 4 1 D 27/20 (2006.01)

F I

A 4 1 D 27/20

J

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 実願2007-61 (U2007-61)
 (22) 出願日 平成19年1月10日(2007.1.10)

(73) 実用新案権者 597129584
 株式会社藤和
 広島県福山市卸町13番15号
 (74) 代理人 100074055
 弁理士 三原 靖雄
 (72) 考案者 山本 克正
 広島県福山市卸町13番15号 株式会社
 藤和内

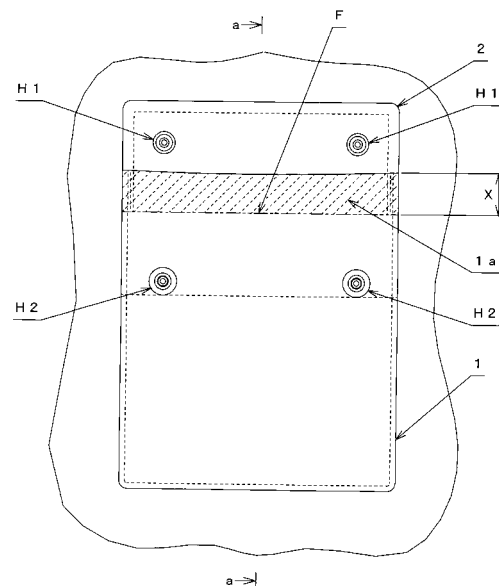
(54) 【考案の名称】 二重雨蓋式ポケット

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 収納物の落下を確実に防止し、且つ、構造が簡単で、丈夫で、安価な二重雨蓋式ポケットを提供する。

【解決手段】 ポケット本体とポケット本体の上口部に縫着した雨蓋から成り、且つ、ポケットは雨蓋開状態時に、ポケット本体上部と雨蓋付根部が、所定寸法程重合するよう両端部をそれぞれ縫着して設け、且つ、物品収納時は、重合した雨蓋と、ポケット本体上部の折り目部から一緒に折り返し、密閉して収納するものである。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

衣服等に設けるポケットにおいて、該ポケットはポケット本体(1)とポケット本体の上口部に縫着した雨蓋(2)から成り、且つ、該ポケットは雨蓋開状態時にポケット本体上部(1a)と雨蓋付根部が所定寸法(X)程重合するよう両端部をそれぞれ縫着して設け、且つ、物品収納時は、重合した雨蓋(2)と、ポケット本体上部(1a)の折り目部(F)から一緒に折り返し、密閉して収納する事を特徴とする二重雨蓋式ポケット。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

この考案は、二重雨蓋式ポケットに関するものである。

【背景技術】**【0002】**

従来、ポケットの役割は、小銭等の小物を入れる為に、衣服等に設けて使用するものであるが、激しい運動や作業をしたり、姿勢を変えたりすることで、ポケットに入れた物が落下して紛失する為、それを防止する為に、特にスポーツや作業用衣服には、ポケットの上部に雨蓋を設けた雨蓋付ポケットが多く使用されている。

【0003】

しかし、従来の雨蓋付ポケットは、ポケットの上口部を完全に密閉出来る構造に成っていない為、激しい運動や作業をした場合には、小物等の場合には、隙間から落下する事がある。従って、これらの問題を解決すべく、落下防止型の二重雨蓋式ポケットの早期開発が望まれている。

【0004】

そこで、これまでに出版されているポケットの特許文献を、参考の為、紹介する。(特許文献1~2参照。)

【特許文献1】登録実用新案第3009508号

【特許文献2】登録実用新案第3072800号

【考案の開示】**【考案が解決しようとする課題】****【0005】**

そこで、上記課題を解決する為に、この考案は、収納物の落下を確実に防止し、且つ、構造が簡単で、丈夫で、安価な二重雨蓋式ポケットを開発・提供する事にある。

【課題を解決するための手段】**【0006】**

この課題を解決する為の手段として、ポケット本体と、ポケット本体の上口部に縫着した雨蓋から成り、且つ、該ポケットは雨蓋開状態時に、ポケット本体上部と雨蓋付根部が、所定寸法程重合するよう両端部をそれぞれ縫着して設け、且つ、物品収納時は、重合した雨蓋と、ポケット本体上部の折り目部から一緒に折り返し、密閉して収納するものである。

【考案の効果】**【0007】**

この考案の効果として、ポケット本体と、ポケット本体の上口部に縫着した雨蓋から成り、且つ、該ポケットは、雨蓋開状態時に、ポケット本体上部と雨蓋付根部が、所定寸法程重合するよう両端部をそれぞれ縫着して設け、且つ、物品収納時は、重合した雨蓋とポケット本体上部の折り目部から一緒に折り返し、密閉して収納する事で、収納物の落下を確実に防止し、高所作業や食品・危険物の取り扱いには最適である等、極めて有益なる効果を奏するものである。

【考案を実施するための最良の形態】**【0008】**

この考案の最良の形態として、ポケット本体上部に設けた所定寸法の重合部は、ポケッ

10

20

30

40

50

トの雨蓋閉時に、重合部が完全密閉可能な最適な寸法を設定する事が重要である。

【実施例 1】

【0009】

そこで、この考案の一実施例を図 1 ~ 図 4 に基づいて詳述すると、衣服等に設けるポケットにおいて、該ポケットは、ポケット本体 (1) と、ポケット本体の上口部に縫着した雨蓋 (2) から成り、且つ、該ポケットは、雨蓋開状態時に、ポケット本体上部 (1 a) と雨蓋付根部が、所定寸法 (X) 程重合するよう両端部をそれぞれ縫着して設け、且つ、物品収納時は重合した雨蓋 (2) と、ポケット本体上部 (1 a) の折り目部 (F) から一緒に折り返し、密閉して収納する事を特徴とする二重雨蓋式ポケットから構成される。

【0010】

次に、この考案の詳細について説明すると、図 1 ~ 図 4 に示すポケットは、各種作業服等に設けたもので、ポケットの上口部には雨蓋 (2) が設けられ、且つ、該雨蓋 (2) の裏面部左右二箇所とポケットの表面左右二箇所には、雨蓋係止用の鉤状留金 (H 1) (H 2) がそれぞれ係止されている。

【0011】

そして、ポケット本体上部 (1 a) は、雨蓋開時に、雨蓋付根部と重合する様に、所定寸法 (X) (約 15 mm) 程延長し、且つ、左右両端部に、カントメ (又はカンヌキ止め) と言われる一定幅の止め縫いをそれぞれ施している

【0012】

又、図 1 は、ポケットの雨蓋開時の正面図で、図 2 は、ポケットの雨蓋閉時の正面図を示し、又、図 3 は、図 1 の a - a 矢視断面図で、図 4 は、図 2 の a - a 矢視断面図を示す。

【0013】

上記、図 4 に示す様に、ポケットの雨蓋閉時は、ポケットの上口部が完全に密閉状態に成り、激しい運動や作業をしても、小銭等の収納物品がポケット内部から飛び出る心配は無く、しかも、取り出す時も従来通り、簡単に取り出す事が出来る。

【産業上の利用可能性】

【0014】

この考案の二重雨蓋式ポケットは、収納物の落下を確実に防止し、且つ、構造が簡単で、丈夫で、安価である為、多くの衣料品業界市場に寄与する点で産業上の利用可能性を有する。

【図面の簡単な説明】

【0015】

【図 1】この考案の一実施例を示し、ポケットの雨蓋開時の正面図である。

【図 2】この考案の一実施例を示し、ポケットの雨蓋閉時の正面図である。

【図 3】この考案の一実施例を示し、図 1 の a - a 矢視断面図である。

【図 4】この考案の一実施例を示し、図 2 の a - a 矢視断面図である。

【符号の説明】

【0016】

- 1 ポケット本体
- 1 a ポケット本体上部
- 2 雨蓋
- F 折り目部
- H 1 鉤状留金
- H 2 鉤状留金
- X 所定寸法

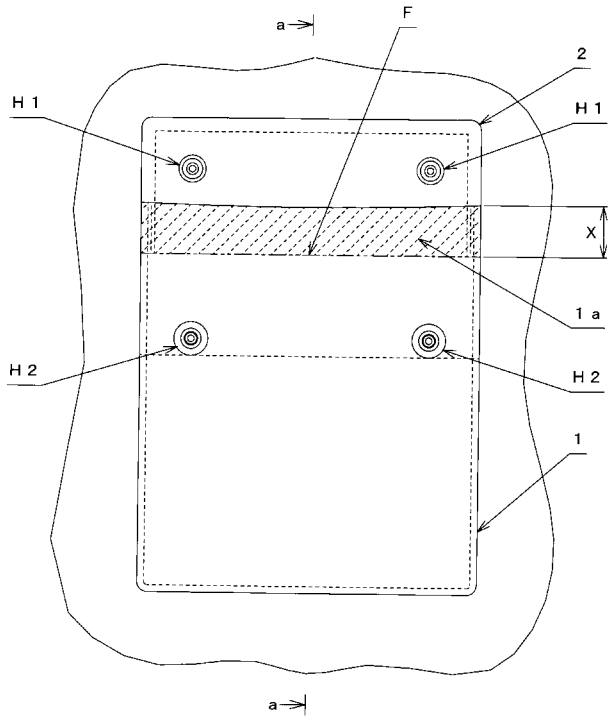
10

20

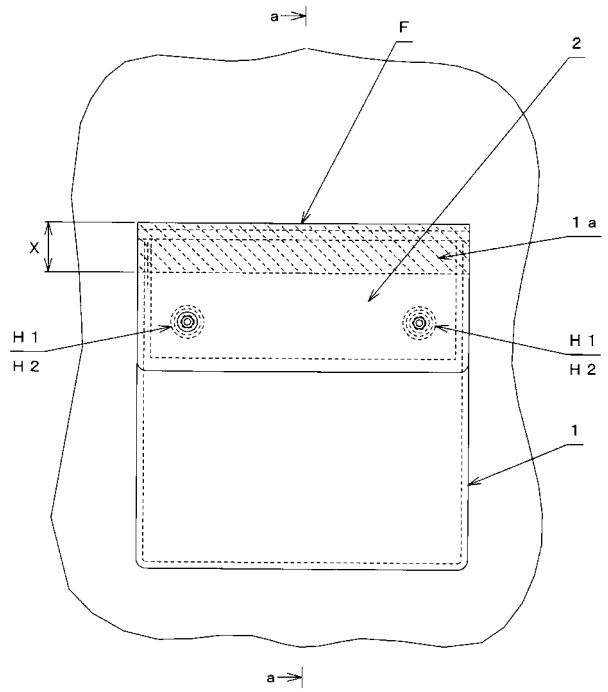
30

40

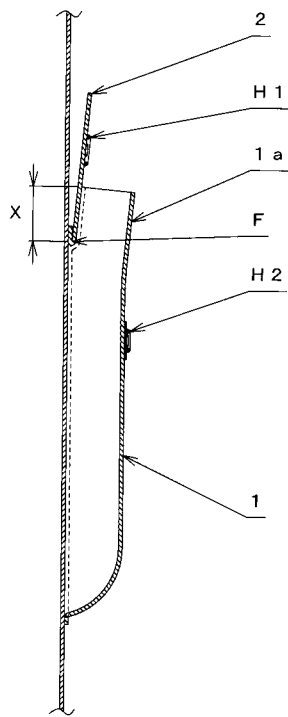
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図 4】

